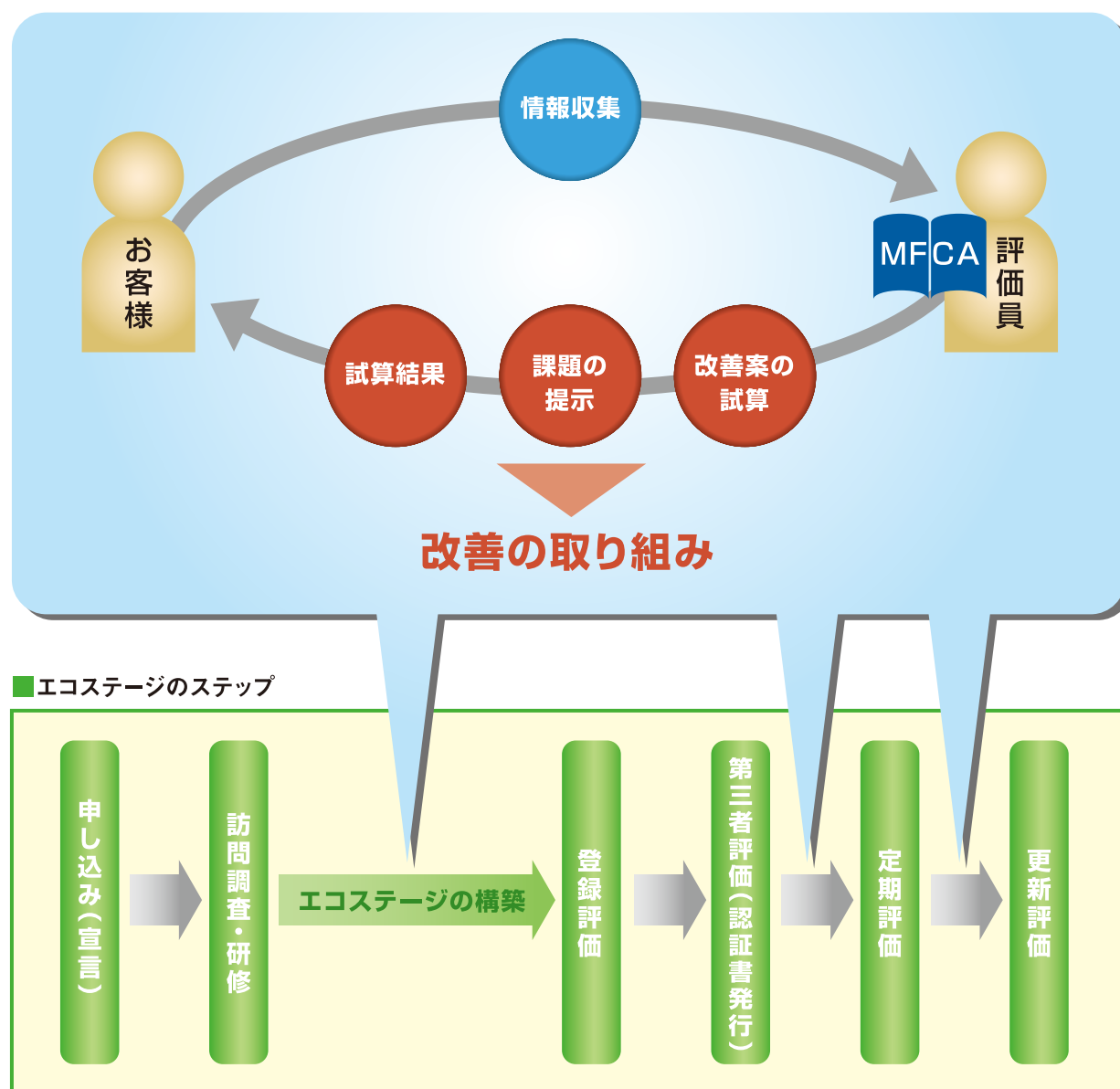


改善効果が“見える”まで、 評価員がフォローしていきます。

MFCAの分析作業については担当の評価員が行い、お客さまの負担を軽減します。また、改善策が導き出された後にもご相談にのり、その効果が具体的に見えるまでフォローしていきます。



マテリアル
フローコスト会計

MFCA × エコステージ

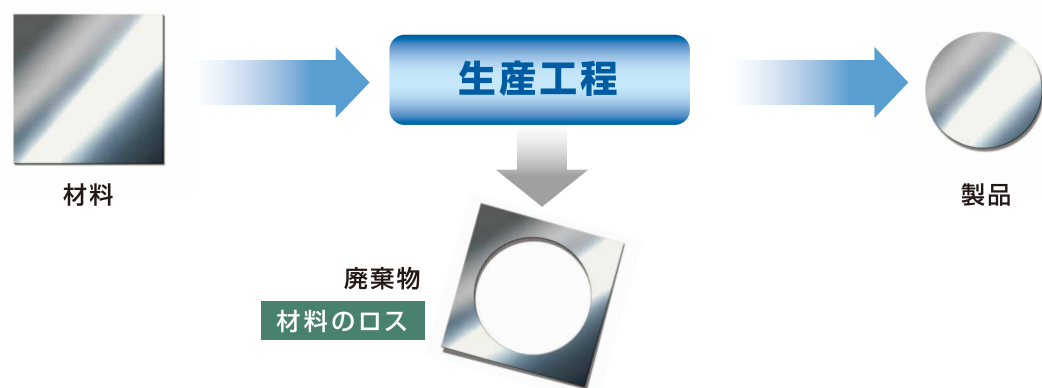
の
ススメ

ムダなコスト、見えてますか？

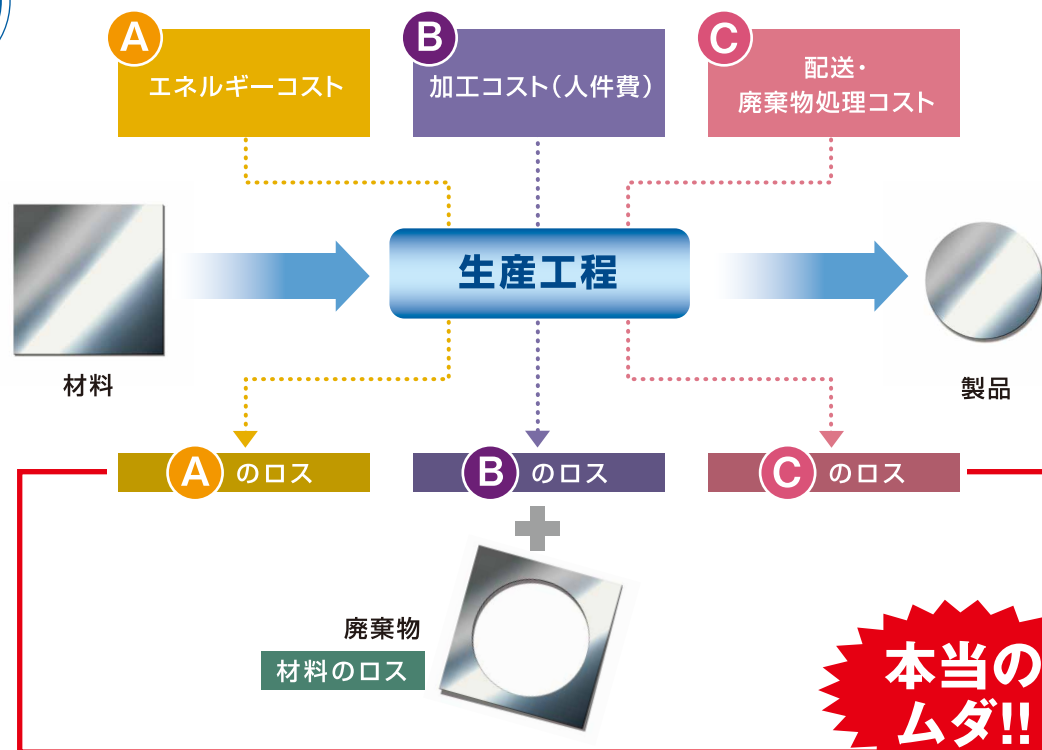
MFCAは、生産工程の隠れたムダを“見える化”する手法です。

ムダなコストを省きたいが、どこから手をつけていいかわからない……。そんな悩みにお応えするのが、MFCA（マテリアルフローコスト会計）です。MFCAは、製品だけでなく、本来意図せずに生まれた廃棄物についても「生産している」と考え、それまでにかかったコスト（A、B、C）をロスとして徹底的に算出。どのコストがどれだけロスになっていたか、今まで見えなかった本当のムダを見つけ出していきます。

今まで



MFCA
なら



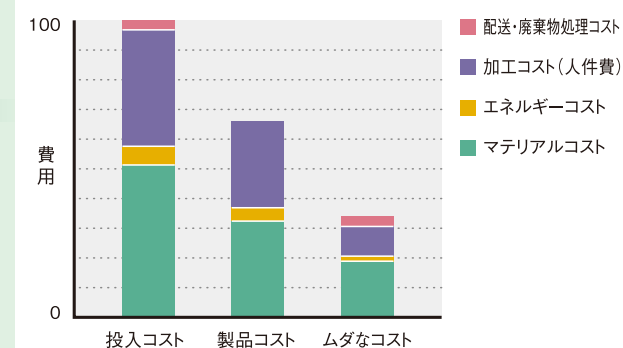
*MFCAは、ドイツで開発され、日本の経済産業省が推奨する環境管理会計の手法です。現在、国際標準に向けた規格化作業が進んでいます。

エコステージと組み合わせると、ここまで“見える化”できます。

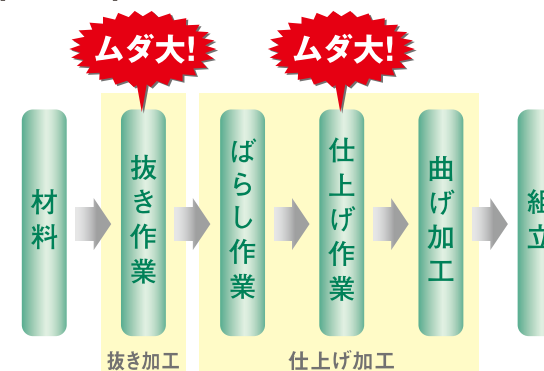
エコステージは、EMS認証組織の中で初めてMFCAを取り入れました。評価員が正確な分析を行い、いくらムダか、どこにムダがあるのか、さらに改善による環境への効果まで“見える化”していきます。環境経営をめざす企業にとって、エコステージとMFCAの組み合わせが、力強いサポートになります。

いくらムダか、“見える化”

生産工程でかかるコストを、マテリアルコスト、エネルギーコスト、加工コスト（人件費）、配送・廃棄物処理コストの4つに分けて分析。投入コストに対してどれだけムダなコストがあるか一目でわかります。



【生産フロー例】



どこにムダがあるか、“見える化”

試算結果によるコストフロー図などで、生産工程の各過程のどこに、どれだけムダがあるかを具体的に指摘。ムダの原因を把握できます。

環境への効果も、“見える化”

コストを下げることで、環境への負荷が上がっては意味がありません。エコステージでは、コストダウンと環境負荷低減を同時に果たす方法をアドバイス。環境経営の最適な道筋が見つかります。

